



東京とどきの実

北海道廳野付牛中学校
北海道廳立北見中学校
北海道北見高等学校
北海道北見北斗高等学校

〈発行〉

東京とどきの実会 事務局

〒113-0034 東京都文京区湯島4-6-11

湯島ハイタウンA-207

<http://www.tokyo-todonomikai.com>

Mail y-maeda-go@mua.biglobe.ne.jp

Mobile 090-8874-5239

同窓生紹介

Interview

2位ではダメですか？ 2位は楽し

昭和27年卒 宮井 国夫さん



宮井さんは、北斗ラグビー部第一期黄金時代を築かれたお一人で、俊足ウイング・主将として昭和27年1月第31回全国大会で準優勝。明治大学ラグビー部では「明大のトライ男」と呼ばれ、「快速重戦車ウイング」としてながら、全国社会人大会で6回の優勝を遂げ、日本代表キャップ11保持、ウイング宮井として一世を築かれました。現役引退後は、協会トップレフリーとし

近年低迷していたラグビーライアが、昨年のワールドカップにおいて日本代表が優勝候補の南アフリカを破ったことで息を吹き返しました。五郎丸選手は一躍時の人ですが、今回の会報巻頭には、ラグビーといえば私たち北見北斗の同窓生が忘れてならないレジェンド宮井国夫先輩にご登場いただきました。

宮井さんは、北見北斗ラグビー部第一期黄金時代を築かれたお一人で、俊足ウイング・主将として昭和27年1月第31回全国大会で準優勝。明治大学ラグビー部では「明大のトライ男」と呼ばれ、「快速重戦車ウイング」としてながら、全国社会人大会で6回の優勝を遂げ、日本代表キャップ11保持、ウイング宮井として一世を築かれました。現役引退後は、協会トップレフリーとし

て活動され、日本協会より、英國、イタリア、韓国に派遣されました。

また、短距離にも非凡な才能を

発揮され、明大時代に陸上部に請われ出場した関東学生選手権では

100mを10秒9で2位、続く全

日本学生選手権では10秒6をマークするもまたまた2位。その俊足

を早明戦で見た当時毎日オリオンズの別当監督から直々のご指名で、

明大卒業時にプロ野球から、契約金100万円? でお説がかかる

というエピソードをお持ちです。

インタビューで宮井さんは2位

の宿命を熱く語りました。曰く、

いつも2位。高校時代の全国決勝

戦は秋田工業に破れ2位、社会人

では6回の優勝経験ながら、ご自

身が主将だった時は近鉄に負けて

2位。100mも2位ばかり。選

手を離れた会社員とし今に至るも常に誰

かを支える立場だったとのこと。しかし、

悔しがつてはいけない、高校時代に負け

た時も泣いた選手はいなかつた。勝った

人がいれば、負けた人がいる。2位でも

結果に満足し、友人、先輩、上司に恵ま

れ、楽しい良い思い出はたくさん。トッ

プだったのは東京とどきの実会会長の2年

間だけと謙遜されるも、実際はゼロから

立ち上げた新日鐵系列の警備保障会社で

社長となり3年で黒字化するという実績

もお持ちなのです。

宮井さんは、現在83歳。北斗時代に毎

日のグランド10周や雪ふみなどの猛練習

で基礎を培った身体は病気知らず、まつ

すぐ伸びた背筋で、いつも紺のブレザー

を着こなした姿はラガーマンそのもの。

八幡製鉄時代にお世話になった上司のお

墓まいりを今でも欠かさず、レフリーサ

ボーターズクラブでは優秀レフリーに毎

年ビューターのマグカップを贈呈する活

動を13年間続け、来る二〇一九年日本開

催ワールドカップに向けて寄付も欠かさ

ない。信条である一生懸命と誠実そのものの大先輩は私たち同窓生の誇りです。



1958年全日本対オールブラックスJr.との対戦（花園にて）

すばらしい一日に感謝します。

恩師 浅野勝園先生

昨年は思いがけず、東京などの実会の集いに家内ともども出席する機会を頂き、本当にありがとうございました。小山内会長様はじめ会員の皆様に、あらためて心からお礼申し上げます。

この日出来事のようです。午後のスクワール麹町のひとときから、43期を中心とした新橋の夜の部まで、ぼくは

一日中地に足が着かず、ふわふわと雲の上を歩いていた。気分でした。

ご挨拶をされる浅野先生が着かず、ふわふわと雲の上を歩いていた。38期と談笑した。

総会に続く懇親会では、

38期と談笑
懇親会では、
どのテーブルからも懐かしい笑顔と熱気
に迎えられ、それだけで幸

せ満開でし

生むドラマが親子二代にわたったわけで、胸が熱くなりました。

こうして書いていると、あの日のこ

とが次から次へと浮かんできます。本当にすばらしい一日でした。出席する

にあたっての諸連絡をはじめ、航空券や宿泊の手配、羽田への出迎え、夜の部のサプライズの段取り、ホテルへの送りとだけなどなど、至れり尽くせりに限って触ることにします。

27期の宮井国夫さんは、ぼくが平野

貞先生の名を挙げたのが嬉しかったと、わざわざ席を立つて駆け寄り話しかけられました。平野先生は後に北斗

の校長になられた方ですが、宮井さんの在学時にはラグビー部の部長をなさっていたのです。今や日本ラグビー

史上の伝説ともいいく宮井さんが、ラグビー少年の昔に返つて往時を熱く語る姿は心に残りました。

いきなり、「私は泊研の息子です」

と名乗った87期の泊晋さんの出現もサプライズでした。お父さんの泊研さんは、ぼくの釧路江南時代の若くてたのもしい同僚でした。一瞬、目の前の晋さんが若かりし日のお父さんの姿に重なり、言葉もないほどでした。お父さんは昨年の春まで北斗の教壇にも立っていた方です。人と人とのつながりの

今年の散策案内

本郷界隈と東大構内、三四郎池を歩く多くの文人が居を構えた本郷界隈と東京大学の構内を散策します。

今年は湯島駅から出発。春日駅までの約2時間の道のりです。学問の神様、湯島天神から横山大観記念館、暗闇坂、竹久夢二美術館そばから東大正門に至り、構内では安田講堂、三四郎池を歩いて、赤門から出ます。本郷通りから菊坂に入ると、路地裏坂道沿いに点在する樋口一葉、坪内逍遙、石川啄木等明治の文人たちの旧居跡を見ることができます。

会場到着後は今年も更衣室とシャワー室の用意があります。



写真左から、三四郎池、安田講堂、赤門

※浅野先生は昭和33年～46年の13年間北斗高校で教鞭をとられました。

第65回 東京とどの実の集い

「散策 歴史を辿つて赤坂の『坂』を歩く」報告

昭和47年卒 生駒 篓

梅雨の季節とはいへ、お天気に恵まれた爽やかな土曜日の10時丁度、集合場所の六本木一丁目駅を参加者11名で出発しました。

交通量の多い都心環状線を歩道橋で渡つてすぐの路地を左に入ると、小さな神社に突き当たります。その真上にある広大なアメリカ大使館宿舎の敷地を左に大きく迂回している急坂が「南部坂」。「忠臣蔵」の大石内蔵助が浅野内匠頭の未亡人・瑠泉院に別れを告げる「南部坂 雪の別れ」の舞台とされているところです。勿論この辺りに江

戸の風情は望むべくもないのですが、洒落たオフィスビルやレストランなどが立ち並んでいて、瀟洒な雰囲気を漂わせています。

緑深い赤坂氷川神社の境内には、先程の瑠泉院が刃傷事件の後、身を寄せていた浅野土佐守邸跡地、勝海舟ゆかりの四合稻荷神社、面白い姿の狛犬やらがあつて興味をそそられます。一息ついてから人通りの少ないオフィスビル街を歩いて「赤坂サカス」に到達。TBS放送センターの裏手にはTBSのマスクコットキャラクター像やウルトラマンの巨大なオブジェが置かれた小さな公園があり、我々は、こんな『昭和の香り』に弱いので、条件反射的に記念撮影してしまいました。

広い外堀通りを渡ると日枝神社。コンクリート製の巨大な山王鳥居をくぐり、長い階段を上つて本殿に至ります。エスカレーターがあるのですが、それには目もくれず歩く、登ります。神門前で記念写真を撮影しました。折から日枝神社では年に一度の「山王祭」が催されていて、歌川広重の「名所江戸百景」の一枚にこの祭りの情景が描か

れていたのを思い出しました。ここは、バレンタインデーやハロウィーンで大騒ぎしている（させられている？）現代日本とは、明らかに別の世界。せめてもの償い（？）に、我々は「茅の輪くぐり」をして厄祓を払い、延命長寿と無病息災を祈つたのであります。

京都の八坂神社のような、山王稻荷神社の赤鳥居のトンネルの中を下つて再び外堀通りを渡ると、そこは赤坂の繁華街。流石「赤坂」で、一見庶民的な店が軒を連ねているよう見えて

も、やはり一味違う洗練された雰囲気が漂っています。1時間ほど歩いて小腹がすいてきたので、「松月」という和菓子屋さんで人気分の塩大福を買いました。裏通りに入つて、高級そうな料亭が何軒か並んでいるところを右に折れて「丹後坂」を上ります。足取りの重い人は、未だいません。山脇学園の脇を通り過ぎて「弾正坂」を下り、青山通りを渡ると左に「赤坂御用地」、右に「豊川稻荷」。迷わず「豊川稻荷」に参拝がてら日陰のベンチを探し塩大福で一休み。七福神巡りも愉しい。東側の門を出て左に下る坂が「九郎九坂」です。先を急ぐ我々は直ぐ青山通りを下つて弁慶掘を弁慶橋で渡つて紀尾井町通りに入りました。

ホテルニューオータニの向い側、清水谷公園の中に1878年にこの辺りで



第65回「東京とどの実会」

2015年6月13日(土)
於／スクワール麹町



世代ごとの記念撮影



昭和24～30年卒



昭和39年卒（浅野先生と）



昭和44～46年卒



昭和32～34年卒



昭和40年卒



昭和47～48年卒（小原とどの実会会长と）



昭和36～37年卒



昭和41年卒



昭和38年卒



昭和42年卒



昭和53～平成24年卒



小山内会長挨拶（昭和26年卒）



恩師 浅野先生



恩師 中ノ目先生



来賓・小原とどの実会会長（昭和52年卒）



決算報告・前田幹事長（昭和40年卒）



校歌斉唱・松浦さん（昭和41年卒）



乾杯・岡田さん（昭和45年卒）



受付（昭和59年卒）の皆さん



司会・西村さん(左)と船木さん(昭和47年卒)

第65回東京とどの実会の集いは、平成27年6月13日（土）13:00からJR四ツ谷駅前のスクワール麹町にて開催されました。65回の節目となる本年は恩師の浅野勝闘先生と中ノ目新治先生をお招きし、昨年に引き続き、今回も「学生の方無料」の呼びかけに応じた大学生参加者2名を含み、来賓として北見、札幌、関西のとどの実会会長、昭24年卒から平成24年卒までの会員の方々106名が集いました。

今年の当番期司会である船木一史さんと西村文江さん（共に昭47年卒）の開会宣言で始まった総会は、松浦宏幸さん（昭41年卒）のリードで校歌斉唱、小山内清孝会長（昭26年卒）の挨拶に続き、前田良三幹事長（昭40年卒）が決算報告を行い、満場一致で承認され、総会を終了いたしました。岡田光弘副幹事長（昭45年卒）の乾杯の音頭で始まった懇親会では、北見からのご来賓であるとどの実会会長小原誠様と恩師浅野勝闘先生よりご挨拶をいただき、終始和やかな語らいの場となりました。恒例となった集いの前に行われる散策報告（歴史を辿って赤坂の「坂」を歩く）、各期の写真撮影と続いた会は、「今日の日はさようなら」を全員で合唱した後、来年の当番期である矢萩典行さん（昭48年卒）の中締めで来年を期してめでたく散会となりました。今年はFacebookでの呼びかけに応じた昭59年卒の方々が初参加となり、情報伝達手段の進化と少しずつ次代にバトンタッチしていく手掛かりを感じた総会となりました。



歓談する皆さん



中締め・矢萩さん（昭和48年卒）

およせいただいた近況から

同期会の報告が続々と

昭和48年卒 伊藤 重博

48期、卒業42年目の夏

前年還暦を迎えた48期（昭48年卒）は、卒業42年目の昨年8月8日に北



見の黒部ホテルにて同期会を開催しました。この日に合わせて東京や札幌から帰省した同級生が集い、毎年北見で8月5日に行われるとどの実

会ビアパーティーに参加したり、やはり同期会開催に合わせて8月6日～12日の期間企画された同期の矢萩典行君と伊藤彰規君の絵画＆陶の作品展－静寂の声に託して－を訪れた

りと、高校生の昔に戻って、市内があちこちで集い、話し、飲んだ数日間でした。また、絵画＆陶作品展では搬入、搬出や期間中の受付等を同級生が分担して引き受け、同期の絆を実感した季節でもありました。

昭和58年卒 今野 久美

本年当番幹事58期です

58期は北見北斗高校が普通科のみ8クラスになった二年目の卒業生です。同窓会は北見で一度開催しまし



たが、同窓生が60名ほど住んでいる札幌で4年前に一度、昨年（二〇一五年）はリクエストがあつて、再び札幌開催となりました。同窓会の幹事は、在学中の昭和57年の北北海道大会で準優勝した野球部のキヤツチャーダった佐々木斎さんに一手に引き受けもらっています。会場も彼の幼なじみの同級生が運営する「キリンビール園」、いろいろなアイディアによる同窓会の連絡体制づくりや人集めなど58期のたよりになる存在です。

当日は二次会を設けず15時から閉店の2時まで、途中からの参加者や帰宅もOKにして、一つの会場だけで7時間開催としました。これも同級生が運営する会場だからこそでした。マイクをまわしての30数年ぶりの自己紹介は結構人気が高く、国産

スト」を同封して、同窓生からの情報によって把握に努めています。2回の開催で卒業生三三〇人のうちの三〇〇人弱の同級生と何らかの方法で連絡が取れる体制ができ、会当日の名札は3年次だけでなく、1年次のクラス、出身中学も書かれていて、おおいに話題作りになりました。これまで、個人情報をがっちり管理している幹事に負うところが大きいです。

同窓生の集いは、往復はがきでの出欠確認ではなく、幹事の佐々木さんが発行する「学年だより」という新聞で気運を盛り上げ、開催案内を送っています。また、連絡先がわからず、開催案内が届かない人は「不明者リスト」を同窓会の連絡体制づくりや人集めなど58期のたよりになる存在です。

同窓会の開催案内が届かない人は「不明者リスト」を同窓会の連絡体制づくりや人集めなど58期のたよりになる存在です。

小型旅客機MRJの製造に携わって
いる同級生や、高校時代に下宿生の
部屋でお酒をちょっと飲んでふらふ
らになつてゐるところを駅前交番の
お巡りさんに見つかり、それがきっかけで警察官になつた同級生など大
いに盛り上りました。会の様子は「学
年だより」に掲載して欠席者にも送
付され、同窓会への関心を高める取
り組みもしています。

今年(二〇一六年)、58期は東京と
どの実会の当番幹事にあたつており、
先日、東京組の顔合わせと同級生の
交流を兼ねて集まりました。次は「東
京との実会」でお会いしましょう!

59期は50歳

昭和59年卒 吳山香代子

平成27年8月15日 北見市ホテル黒
部にて59期同窓会を開催しました。卒
業以来の初めての学年全体の同窓会
で、50歳の記念すべき会となりました。
出席者一〇六名、担任だった丸子先生、
鴨澤先生、高橋先生、澤田先生にも
ご出席いただき、クラスの垣根を越
えて親睦を図り、楽しい会となりま
した。

30年の時を経て、北見でまた再会
できた幸運に感謝し、これを第二の
出会いとして、今後の繋がりを更に
深めていきたいと思います。



世界女子カーリング選手権大会での藤澤さん

AP/Aflo

昌オリンピック出場権獲得
にも大きく前進しました。
藤澤五月さん・L.S.北見
の皆さん、おめでとう!
北見北斗同窓生の皆さん連
日の応援ありがとうございました。

横断幕が新しくなりました。ここ何年も使用していたもの
に汚れや破れがあったため、作り直しました。

校章と学校名の帯をスクールカラーのエンジにし、タイト
ル文字はトドマツなどの針葉樹をイメージした濃い緑です。
デザインは昭和48年卒のデザイナー矢萩典行さんです。



野付牛中学校・北見中学校・北見高校・北見北斗高校

第66回 東京とどの実会の集い

2016・6・25

藤澤五月さん (平22年卒) 快挙!!
日本初銀メダル!
二〇一六世界女子カーリング選手権!

世界女子カーリング選手権大会決勝戦で日本代表LS北見
はスイスと対戦しました。

スキップ藤澤五月さん(平22年卒)は大会2年連続優勝中の強豪スイスに最終エンド迄一步も引かず接戦を演じましたが6対9で惜しくも敗れました。日本代表が世界選手権でメダルを獲得するのは初めての快挙で日本の強さを世界にアピールした今

大会でした。
二〇一八年平

昌オリンピック出場権獲得
にも大きく前進しました。
藤澤五月さん・L.S.北見
の皆さん、おめでとう!
北見北斗同窓生の皆さん連
日の応援ありがとうございました。

監会
查計

昭34年卒	昭57年卒	昭56年卒	昭53年卒	昭47年卒	昭45年卒	昭40年卒	昭47年卒	昭43年卒	昭42年卒	昭38年卒	昭26年卒	昭24年卒
角利通	余語論	青見直樹	渡辺由紀子	生駒篤	岡田光弘	前田良三	伊藤久絵	作田邦英	広川正三	小野邦英	桂清孝	小山内教夫

幹事会	顧問	監査										
幹事	顧問	監査										
昭43年卒	昭42年卒	昭41年卒	昭40年卒	昭39年卒	昭39年卒	昭37年卒	昭37年卒	昭33年卒	昭27年卒	昭34年卒	昭34年卒	
井上順治	河野真知子	池田義則	西垣内芳樹	平澤幸秀	松浦秀幸	吉村知子	長谷川俊弘	石渡勝	渡部照市	山田勝征	杉本護	半田公三
										横山国夫	馬場正孝	

幹事												
幹事												
昭59年卒	昭59年卒	昭59年卒	昭58年卒	昭58年卒	昭55年卒	昭52年卒	昭50年卒	昭49年卒	昭48年卒	昭48年卒	昭46年卒	昭45年卒
柳田久保美和	吳山依子	渡邊香代子	大場範道	今野伸子	立崎久美	引地幸子	村上千美	田上聰	伊東幸子	鶴見博志	矢萩千鶴子	松田貞子
												好美寛行

東京とどの実会役員

(2014~15年度)

東京とどの実会

●会員数 1,482人 2015.12.31 現在

会費納入数 246人 2015年度

●総会出席者数

2013年 99人 中野サンプラザ

2014年 115人 アルカディア市ヶ谷

2015年 106人 スクワール麹町(四谷)

平成26年度会計報告書

自 26年4月1日
至 27年3月31日

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
前期繰越金	1,548,319	会合費/消耗品費	84,289
年会費収入	543,000	印刷費	267,930
総会費収入	702,000	総会費	747,448
寄付金収入	213,000	通信交通費	175,944
預金利息	170	支払手数料	28,392
		涉外費	65,724
		次期繰越金	1,636,762
合計	3,006,489	合計	3,006,489

物故者一覧 (2015年)

ご冥福をお祈りいたします。

敬称略	昭47年卒	昭41年卒	昭39年卒	昭38年卒	昭37年卒	昭34年卒	昭33年卒	昭30年卒	昭25年卒	昭30年卒	昭24年卒	昭22年卒	昭20年卒	昭11年卒
戸田弘幸	横山菅原	坂井小野寺	山野吉雄	渡辺重義	東郷秀彦	品川義雄	土田政信	横山吉雄	坂井吉雄	菅原吉雄	小野寺吉雄			
(一)内は旧姓	渡	美	秀	二	信	治	雄	秀	一	彦	一			

編集後記

○5年前中部電力の軽井沢練習場に藤澤五月さんを訪ね、この会報(12号)の取材をしたことを懐かしく思いながら世界女子カーリング大会を連日テレビで観戦、応援をした。まだ十代の初々しかった藤澤さんはすっかり大人の女性になって世界の桧舞台でトップを争っている。オリンピック出場を夢見て、勧誘された中電に就職し進学を断念した彼女が2年後のピョンチャン大会で活躍できることを願って止まない。(YM)

○昭和50年代後半卒業の世代が総会に参加し、役員名簿にも名前を連ねてくれるようになりました。今回の会報にも同期会だよりをお寄せいただき、喜ばしい限りです。ホームページやフェイスブックを閲覧する若い世代も増えているようで、東京とどの実会の未来に光がさしてきたようです。(HI)

思い出の写真



昭和45年度合格発表風景